

訪問滞在型研究・プロジェクト研究題目一覧

1991(平成 3)年度	「無限自由度の数学解析」
1992(平成 4)年度	「非線型現象の解明と応用」
1993(平成 5)年度	「モジュライ空間、ガロア表現及びL関数」
1994(平成 6)年度	「代数的組合せ論の研究—他分野との関連性を主題として」
1995(平成 7)年度	「B R S 対称性」
1996(平成 8)年度	「高次元代数多様体」
1997(平成 9)年度	「等質空間上の解析とLie群の表現」
1998(平成10)年度	「表現論における組合せ論的方法及び関連する組合せ論」
1999(平成11)年度	「弦理論にかかわる幾何学」
2000(平成12)年度	「反応拡散系：理論と応用」
2001(平成13)年度	「21世紀の低次元トポロジー」
2002(平成14)年度	「確率解析とその周辺」
2003(平成15)年度	「複素力学系」
2004(平成16)年度	「代数解析的方法による可積分系の研究」
2005(平成17)年度	「Navier-Stokes方程式の数理解析とその応用」
2006(平成18)年度	「数論的代数幾何学の研究」
	「グレブナー基底の理論的有効性と実践的有効性」
2007(平成19)年度	「ミラー対称性と位相的場の理論」
2008(平成20)年度	「離散構造とアルゴリズム」
	「On the Resolution of Singularities」
2009(平成21)年度	「数理ファイナンス」
	「非線形分散型偏微分方程式の定性的研究」
2010(平成22)年度	「数論における諸関数とその確率論的側面」
	「変形量子化と非可換幾何学の新展開へむけて」
2011(平成23)年度	「作用素環とその応用」
	「極小モデルと端射線」
2012(平成24)年度	「離散幾何解析」
	「高精度数値計算法の先端的応用」
2013(平成25)年度	「モジュライ理論」
	「大規模流動現象の流体力学」
	「力学系：理論と応用の新展開」
2014(平成26)年度	「数学と材料科学の新たな融合研究を目指して」
	「幾何学的表現論の研究」
2015(平成27)年度	「確率解析」
	「理論計算機科学の新展開」
2016(平成28)年度	「壁近傍乱流の流体力学」
	「グレブナー基底の展望」
	「微分幾何学と幾何解析」
2017(平成29)年度	「量子力学の数理解析およびその周辺の話題」
2018(平成30)年度	「頂点作用素代数と対称性」
2019(平成31)年度	「団代数」
	「離散最適化とその周辺」
2020(令和2)年度	「宇宙際タイヒミューラー理論の拡がり」(2021年度に延期)
	「微分幾何と可積分系—対称性と安定性・モジュライの数理解析—」(2021年度に延期)

2021(令和3)年度	「Mathematical Biofluid Mechanics」 「作用素環論とその応用」 「宇宙際タイヒミューラー理論の拡がり」 「微分幾何と可積分系－対称性と安定性・モジュライの数理－」
2022(令和4)年度	「変分問題の深化と応用」 「特異点論特別月間」
2023(令和5)年度	「確率過程とその周辺」
2024(令和6)年度	「可積分系・数理物理学に関わる代数幾何学の発展」
2025(令和7)年度	「数理最適化における理論研究の新展開」
2026(令和8)年度	「HIGHER STRUCTURES IN GEOMETRY AND MATHEMATICAL PHYSICS」 「The Mathematical Roads to Quantum Field Theory.」

※2018年度、国際共同利用・共同研究拠点認定に伴い「プロジェクト研究」は「訪問滞在型研究」に発展拡大した。